



(図) GWI 百周年ロゴ・コンテスト優勝作品

GWI 百周年ロゴ・コンテストの優勝者発表

GWI 百周年ロゴ・コンテスト優勝者は、GWI フィジー副会長 Maria Ronna Luna Patorizo-Sekiguchi 氏に決定しました。このロゴは、2019年7月25日(木)~28日(日)、ジュネーブで開催される百周年祝賀会で使用されます。

このロゴは、すべての女兒と女性が上質で安全な生涯教育を受ける権利および女兒と女性の地位向上を促進し提唱するという GWI のミッションを完璧に表現しています。Patorizo-Sekiguchi 氏は次のように述べています。「ここに示したロゴは GWI のシンボルであるランプのロゴをもとに、教育を通じて女兒と女性をエンパワーするために協働する女性たちの百年を記念すべく、女性たちの横顔のシルエットを描き重ねたデザインとなっています。」「ランプの焰は、1919年から今日まで絶えることなく燃え続けるすべての女性たちの熱意、生命、活力、そして永續性を表しています。さらにこの焰は、女兒と女性が人生でいろいろな発見をし、学んでいくなかで、心に燃える可能性やインスピレーションをも象徴しています。」このロゴマークが、平和な社会を作るための教育に長年貢献してきた GWI の百周年を記念する完璧なロゴとして、「焰先が二つに分かれていることにも意味があるのです。」と、Patorizo-Sekiguchi 氏は述べています。「二つに割れた焰先は、飛ぶ鳥の2枚のツバサでもあり、開いた本のページでもあることを示しており、GWI の1世紀をかけた長年のテーマである『教育による平和』という深い意義をスバリ表現しているのです。」GWI は、Patorizo-Sekiguchi 氏のすばらしい業績を祝い、GWI の教育を通じた平和構築百年を記念した本コンテストへのすべての参加者に心から感謝します。

GWI が賛同する「世界図書・著作権デー」4月23日

今年の4月23日には、UNESCO の定める「世界図書・著作権デー」第23回の活動に皆様も一緒に参加しませんか。

この祝日は、読書の力にスポットを当てるとともに、たとえ世界中のどこにいても、すべての人々、特に子どもたちが図書にアクセスできるよう、その公平性および多様性を促進するために制定されました。GWI は、フォーマルおよびインフォーマル教育において、読書の役割の重要性を強調してきました。そして、身体または学習能力に障害を持つ人々がもっと図書を活用できるようにする、さらに多くの言語に対応する、ジェンダーに配慮した教材を学校に紹介をする、などの取組みを支援しています。「世界図書・著作権デー」の年間活動のひとつに「世界本の首都」の選定があり、これは、図書や読書活動を促進する年間プログラムです。UNESCO の「2018世界本の首都」は GWI の加盟協会でもあるギリシャの首都アテネです。アテネはテーマを「どこでも本を！」にしました。そして、アテネの津々浦々どこでも、誰でも、すべての人々が、男の子でも女の子でも、男性でも女性でも、アテネの人でも観光客でも、移民でも難民でも、とにかくすべての人々に本を手にしてもらうことを目指しています。GWI は、アクセス可能で包括的な読書に向けた提唱活動を促すことにより、すべての人々の教育への障害を取り除こうとするアテネと UNESCO の取組みに、大いに賛同しています。